

**平成24年度
保健福祉学部附属診療センター
年報**

目次

- I. 年度目標と実績
- II. 診療実績
- III. 教育実績
- IV. 研究業績
- V. 従事者名簿

I. 年度目標と実績

【目標】

運営体制の整備および教育・研究・地域貢献機能を強化

【実績】

- ◆安全管理基準マニュアル・院内感染対策マニュアルの作成
- ◆医療備品台帳の整備
- ◆診療と教育・研究の区分に関する要綱完成
- ◆学生実習時の校費負担手順の完成
- ◆成人領域臨床カンファレンスを実施

II. 診療実績

【受診者数】

(人)

	初診患者	再診患者	合計	実人数
全体人数	192	4381	4573	935

【地域別】

(人)

三原市	65	2247	2312	408
尾道市	40	895	935	187
福山市	62	504	566	198
広島市	8	141	149	25
東広島市	0	20	20	7
府中市	2	48	50	19
三次市	0	16	16	3
安芸高田市	0	7	7	1
呉市	0	24	24	2
神石郡	0	10	10	3
世羅郡	3	128	131	26
竹原市	3	193	196	33
豊田郡	1	3	4	2
廿日市市	1	3	4	1
安芸郡	0	58	58	2
庄原市	0	1	1	1
岡山	1	46	47	6
山口県	3	23	26	7
四国	2	8	10	2
大阪	0	2	2	1
北九州	1	4	5	1
合計	192	4381	4573	935

【年齢別】

年齢別	初診人数	実人数
3歳未満	5	5
3歳	16	19
4歳	30	49
5歳	20	50
6歳	32	93
小1	6	60
小2	8	67
小3	11	71
小4	6	43
小5	7	53
小6	2	51
中1	2	44
中2	4	31
中3	3	30
高校生	0	59
19歳～20歳	0	21
21歳～30歳	6	22
31歳～40歳	9	26
41歳～50歳	8	28
51歳～60歳	5	26
60歳以上	12	87
合計	192	935

【初診患者の主診断名別】

診断名	人数
自閉症スペクトラム	75
知的障害・学習障害	34
注意欠陥多動障害	29
発声・嚥下・構音障害	33
高次能機能障害・認知症	8
脳性麻痺など先天性身体障害	5
脳血管障害など後天性身体障害	7
難聴	6
その他	6

*5名複数科受診のため重複

Ⅲ. 教育実績

【授業・見学】

理学療法学科

内容	科目（担当教員）	学年	人数	日時
放射線関連検査室見学	ルッシュマンモニター（滝川厚）	1年	20名	6月15日
放射線関連検査室見学	医療画像学（滝川厚）	3年	15名	10月2日
放射線関連検査室見学	医療画像学（滝川厚）	3年	15名	10月3日
診療センター見学	理学療法概論Ⅱ（小野武也）	1年	30名	12月13日

作業療法学科

科目名	学年	人数	期間	回数	内容
身体障害評価学	3	30	6～7月	2	脳卒中のクライアントに対するADL評価、感覚評価、上肢機能評価場面をビデオ撮影し、映像を授業で活用した。

【実習】

理学療法学科

科目	学年	人数	日時
総合臨床実習Ⅰ 補充実習	4年	1名	9月5日（全1回）

作業療法学科

科目名	学年	人数	期間	回数	内容
発達障害治療学実習	3	30	4～3月	10	発達障害をもつ患者13名の協力を得て、学生に作業療法場面の見学、補助を行わせた。学生2～3名が患者1名を担当し、1組当たり年間10回の実習を行い、作業療法のプロセスを学習した。

コミュニケーション障害学科

	2年生 見学	3年生 実習	4年生 実習	4年生 見学	4年生 診察見学 (小児科)	4年生 診察見学 (神経内科)	合計
件数	30	96	51	32	30	30	269 (件)
学生のべ人数	96	248	120	90	30	30	614 (人)

【卒業研究】

理学療法学科

内容	学年	人数	日時
症例研究（情報収集・評価等）	3年	1名	7月27日, 9月3日, 12月26日 3月13日, 3月27日（全5回）

作業療法学科

学年	人数	期間	回数	内容
4	3	2月	2	不登校の母親に対して許可を得て要因や回復過程についてインタビューを行った。
4	3	10~3月		外来で使用されているチェックリストを分析し、発達外来症例の実態と不登校に及ぼす影響を検討した。
4	3	10月	3	発達外来の診療を陪席した。
4	4	6~12月	7	不登校児とその母親の許可及び協力を得て、不登校の回復過程について研究した。

コミュニケーション障害学科

卒業論文タイトル
発声時の筋緊張の検討 —舌交互反復運動による測定—

IV. 研究業績

【論文】

タイトル	著者	誌名	出版年月
Effect of Vibroacoustic Therapy on Elderly Nursing Home Residents with Depression	Yoshihisa Koike, Mitsuyo Hoshitani, Yukie Tabata, Kazuhiko Seki, Reiko Nishimura, Yoshio Kano.	J.Phys.Ther.Sci.	2012年4月
加齢に伴う骨密度・骨代謝の変化 - 身体的特徴や骨代謝マーカーが骨密度減少に及ぼす影響-	原田俊英	診療と新薬	2012年6月
広島県小児科医会子どもの心委員会の子どもの心を育み守る活動報告	河野政樹、細木瑞穂、梶梅あい子、湊崎和範、河村理英子、山根希代子、林優子	広島医学	2012年7月
嚥下障害または構音障害を有する患者における最大舌圧測定の有用性 - 新たに開発した舌圧測定器を用いて -	武内和弘, 小澤由嗣, 長谷川純, 津田哲也, 狩野智一, 上田麻美, 豊田耕一郎	日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌	2012年8月
難治性中枢性疼痛への Pregabalin の有用性	原田俊英	薬理と治療	2012年8月
ノイロトピン錠 R が腰痛に対して著効を呈したパーキンソン病の一例	原田俊英	診療と新薬	2012年8月

【講演・口演・学会発表】

タイトル	講演者	会議名	開催年月日
失語症のための文字による情報支援	長谷川純	全国要約筆記問題研究会広島県支部研修会	2012年4月
慢性期重度失語症者1例に対する拡大代替コミュニケーション(AAC)―Android OS タブレット PC の作成と導入―	立川賢佑, 吉畑博代, 津田哲也	日本コミュニケーション障害学会学術講演会 予稿集	2012年4月
嚥下障害または構音障害を有する患者における最大舌圧測定の有用性―新開発の舌圧測定器を用いて―	武内和弘, 小澤由嗣, 長谷川純, 津田哲也, 狩野智一, 上田麻美, 豊田耕一郎	24回日本嚥下障害臨床研究会	2012年7月
失語症者を対象とした文字による情報支援の方法について	長谷川純	失語症ボランティアグループ「ひびき」研修会	2012年7月
摂食嚥下障害に関する認識調査	矢守麻奈	第24回日本嚥下障害臨床研究会(高知)	2012年7月
The effectiveness of self-training audiovisual in patients with aphasia for the acquisitions of gestures and speech production The effectiveness of audiovisual self-training in patients with aphasia for the acquisitions of gestures and speech production.	Booka Mineko	The 15th Biennial Conference of the International Society for Augmentative and Alternative Communication. (Pittsburgh, U.S.A.)	2012年8月
ANALYSIS OF CHARACTERISTICS ASSOCIATED WITH THINNESS AND OBESITY AND THE IMPROVEMENT PROCESS AMONG CHILDREN WITH DEVELOPMENTAL DISORDERS	Keiko Kaagi, Yu ko Hyashi	44th APACPH Conference, Srilanka, 2012.10	2012年10月
文字による情報支援の広がり ―「失語症」のための要約筆記―	長谷川純	広島市要約筆記奉仕員研修会	2012年12月
スムーズな嚥下を促進するもの-視覚情報による嚥下反応の変化-	矢守麻奈	第36回日本嚥下医学会(京都)	2013年3月
ライフステージに対応した摂食嚥下リハビリテーションと言語聴覚士	矢守麻奈	広島県言語聴覚士会 第9回学術研修会シンポジウム基調講演	2013年3月

タイトル	講演者	会議名	開催年月日
家庭に課題のある発達障害児への支援—地域連携の中の医師の役割—	林優子	第54回日本小児神経学会総会	2012年5月
発達障害への支援の考え方	林優子	三原シティカレッジ'12	2012年7月
ADHD 診断と治療の実際	林優子	平成23年度公開カウンセリング講座	2012年8月
中枢神経障害の基礎知識	林優子	平成24年度教員免許状更新講習会 特別支援教育B —知的障害・肢体不自由等の理解と支援	2012年8月
発達障害の診断と治療の実際	林優子	平成24年度教員免許状更新講習会 特別支援教育A —広汎性発達障害・ADHD等の理解と支援	2012年8月
児童デイサービスと専門医療機関の連携による就園に向けた支援の有効性の検討～就園後の面接調査より～	土路生明美、鴨下加代、林優子、山西葉子、土田玲子、山本映子	第59回日本保健協会学術集会	2012年9月
話しことばの科学—言語聴覚士の視点から—	小澤由嗣	広島国泰寺高等学校サイエンス講座(文部科学省指定スーパーサイエンスハイスクール事業)	2012年9月
パーキンソン病の病態・治療に関する新知見	原田俊英	協和発酵キリン株式会社MR研修会	2012年9月
構音障害とその指導の在り方	小澤由嗣	福山市教職員研修「言語通級指導教室担当者養成講座」	2012年10月
摂食嚥下障害のある方の食事介助～誤嚥性肺炎・低栄養を防ぐために～	矢守麻奈	社会福祉法人三原福祉会三原慶雲寮職員研修会	2012年10月
摂食嚥下障害のある方の食事介助～誤嚥性肺炎・低栄養を防ぐために～	矢守麻奈	社会福祉法人松友福祉会すなみ荘職員研修会	2012年11月
パーキンソン病の治療方針と薬物療法	原田俊英	大塚製薬福山出張所社内勉強会	2012年11月

タイトル	研究代表者	制度名	研究期間
認知症の病態及び治療に関する新知見	原田俊英	小野薬品工業株式会社広島支店社内勉強会	2012年12月
漢方薬が有効であった発達障害児の2例	林優子	平成24年度第5回三原市小児科医会	2013年1月
予防可能な軽度認知障害(MCI)の病態	原田俊英	平成24年度健骨・健康増進セミナー～認知症と骨粗鬆症～	2013年3月
誰もがなりやすい認知症の予防対策について	原田俊英	介護人材育成支援事業「認知症予防セミナー」	2013年3月
認知症の摂食・嚥下障害について	原田俊英	平成24年度県立広島大学学内共同プロジェクト研究発表会	2013年3月

【外部資金】

タイトル	研究代表者	制度名	研究期間
拡大代替コミュニケーションの活用に向けた評価方法の開発と実践的検証	坊岡峰子	三菱財団社会福祉事業助成金	H22～H24年度
発達障害をもつ思春期の子どもへの肥満改善のための保健指導方法の検討	鴨下加代	科学研究費補助金(若手研究B)	H24～H26年度
振動音響療法におけるパーキンソン病の認知機能及びWearing-off現象改善効果の検討	小池好久	科学研究費補助金(基盤研究C)	H23～H25年度

【書籍】

タイトル	著者	出版社	出版年月
パーキンソン病はこうすれば変わる!? 日常生活の工夫とパーキンソンダンスで生活機能を改善	原田俊英	三輪書店	2012年6月

V. 従事者名簿

医師

小児科	林 優子
リハビリテーション科	沖 貞明
内科	安武 繁
精神科	藤巻康一郎
耳鼻咽喉科	土師知行
神経内科	原田俊英
整形外科	住居広士

看護師

看護師	土路生明美
	鴨下加代
	笠置恵子
	青井聡美
	池田ひろみ
	中垣和子
	吉田なよ子
	大内隆
看護師(専任)	西本美絵子
	中川廣子

医療事務受付	塩崎恭子
	田坂春美

非常勤専門職員

看護カウンセラー	山本映子
小児理学療法士	清水ミシェルアイズマン
心理士	藤井加奈子

コメディカル

理学療法士	大塚 彰
	金井秀作
	島谷康司
	武本秀徳
	梅井凡子
	長谷川正哉
	積山和加子
作業療法士	田端幸枝
	土田玲子
	西田征治
	吉川ひろみ
	古山千佳子
	小池好久
	高木雅之
	西村玲子
	永吉美香
	山西葉子
言語聴覚士	堀江真由美
	坊岡峰子
	細川淳嗣
	吐師道子
	玉井ふみ
	小澤由嗣
	長谷川純
	城本 修
	矢守麻奈
	渡辺眞澄
	津田哲也
	中村 文
	放射線技師
中村 悟	
社会福祉士	永野なおみ